

健康福祉委員会資料

(健康福祉局関係)

1 平成30年第4回定例会提出予定議案の説明

(6) 議案第182号 陽光ホームの指定管理者の指定について

資料1 指定管理者指定議案に係る参考資料

平成30年11月21日

健康福祉局

議案第 182号参考資料

1 管理を行わせる公の施設の概要

(1) 名称	陽光ホーム
(2) 所在地	川崎市中原区井田3丁目16番1号
(3) 設置条例	川崎市心身障害者総合リハビリテーションセンター条例
(4) 設置目的	川崎市リハビリテーション福祉・医療センターの再編整備に伴い、入所施設から地域生活への移行を希望する障害者の支援を行い、当該障害者等の福祉の増進を図ることを目的とする。
(5) 施設の事業内容	<p>(1) 共同生活援助（グループホーム）</p> <p>障害者総合支援法第5条第17項の規定に基づき、障害者につき、主として夜間において、共同生活を営むべき住居において相談、入浴、排せつ又は食事の介護その他の日常生活上の援助を行う。</p> <p>(2) 地域生活体験事業</p> <p>川崎市心身障害者総合リハビリテーションセンター条例第22条の16第4号に基づき、長期の入院及び入所から地域生活を希望する障害者につき、共同生活を営むべき住居において体験的な利用を実施し、地域生活移行のための支援を行う。</p>
(6) 現在の管理者	社会福祉法人 育桜福祉会
(7) 現在の管理運営費	11,737,063円（指定管理期間の平均年額）

2 指定管理者となる団体の概要

名 称	社会福祉法人 育桜福祉会
所 在 地	川崎市中原区西加瀬10番3号
代 表 者 名	理事長 星 栄
設 立 年 月	昭和56年2月12日
基 本 財 産 又は資本の額	27億3,173万9,938円
職 員 数 又は従業員数	理事6名、監事2名、職員420名
設 立 目 的	多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。
事 業 概 要 (平成29年度)	<p>(1) 井田重度障害者等生活施設指定管理者（第1種社会福祉事業）</p> <p>(2) 第2種社会福祉事業（障害福祉サービス事業、相談支援事業、身体障害者福祉センター）の設置経営及び受託経営</p> <p>(3) 陽光ホーム指定管理者（第2種社会福祉事業）</p> <p>(4) 北部身体障害者福祉会館・わーくす高津指定管理者（第2種社会福祉事業）</p> <p>(5) 収益を目的とする事業（障害者ふれあいショップ）の設置経営</p>
決 算 (平成29年	<p>①事業活動による収支</p> <p>事業活動収入 2,190,545,141円</p>

度)	事業活動支出	2, 004, 232, 873円
	事業活動資金収支差額	186, 312, 268円・・・(1)
	②施設整備等による収支	
	施設整備等収入	44, 002, 345円
	施設整備等支出	101, 911, 756円
	施設整備等資金収支差額	△57, 909, 411円・・・(2)
	③その他の活動による収支	
	その他の活動収入	6, 798, 750円
	その他の活動支出	98, 594, 350円
	その他の活動資金収支差額	△91, 795, 600円・・・(3)
	④当期資金収支差額	36, 607, 257円・・・(4)
	((1) + (2) + (3))	
	⑤前期末支払資金残高	710, 033, 526円・・・(5)
	⑥当期末支払資金残高	746, 640, 783円・・・(6)
	((4) + (5))	

3 指定期間

平成31年4月1日から平成36年3月31日まで

4 選定結果

別紙のとおり

5 事業計画

項 目	事業内容
障害者支援に対する考え方、方向性、取組	<ul style="list-style-type: none"> ・共同生活援助において、「グループホーム標準支援マニュアル」に基づいた支援を行うとともに、入居者それぞれの想いに寄り添い、自ら希望する暮らしが実現できるように関係機関と連携した支援を行う。また、職員が一体となって統一的な支援を行えるよう、入居者についての情報共有や職員のスキルアップを積極的に実施する。 ・地域生活体験事業において、施設や病院等から地域生活への移行を希望する方に対し、共同で生活する住居の一時的な体験利用の機会を提供し、地域移行のための支援を行う。受け入れにあたっては、関係機関と連携しながら利用者の障害状況や生活環境の安全確保に努める。
施設運営計画（提供するサービスの考え方、日課等）	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人ひとりが自らの想いを培い、実現に向けて選択できるよう、聞き取りやアセスメントを行い、個別支援計画を作成する。 ・食事や入浴などを日課と定め、安定した生活リズムを保てるようにするとともに、外出する機会を確保する等、地域で生活することを見据えた支援を実施する。
他機関等との連携についての考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・日中の通所事業所、相談支援事業所、保健福祉センター、医療機関など、利用者の生活に関わる多様な支援機関と連携し、利用者本人の想いの実現に向けて一貫した支援を行う。
上乗せ提案	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム利用の希望はあるが、不安を持っている方に対し、地域移行に向けたワンステップの場を提供することで、利用者の地域移行を支援する。

	<p>・近隣の障害者支援施設と連携して、具体的な支援方法の情報提供・共有を行い、地域生活が困難な方に対する支援を行う。また、災害時に向けた訓練を共同で開催することで、より効果的な訓練を実施する。</p>
--	---

6 収支計画

(単位：千円)

項目	金額（消費税及び地方消費税を含む。）					合計
	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	
収入	64,869	64,869	64,869	64,869	64,869	324,345
自立支援費等収入	35,554	35,554	35,554	35,554	35,554	177,770
川崎市加算	12,775	12,775	12,775	12,775	12,775	63,875
指定管理料	6,653	6,653	6,653	6,653	6,653	33,265
その他の収入	9,887	9,887	9,887	9,887	9,887	49,435
支出	63,887	64,093	64,274	64,422	64,560	321,236

別紙

陽光ホームの指定管理予定者の選定結果について

1 応募状況

応募団体：1団体（社会福祉法人 育桜福祉会）

2 指定管理者選定評価委員会委員

- 【学識経験者】 赤塚 光子 （元立教大学コミュニティ福祉学部教授）
- 【学識経験者】 柳田 正明 （山梨県立大学人間福祉学部教授）
- 【学識経験者】 行實 志都子（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部准教授）
- 【学識経験者】 渡部 匡隆 （横浜国立大学大学院教育学研究科教授）
- 【財務の専門家】 谷川 淳 （公認会計士）

3 選定理由

次期指定管理業務に関して仕様書に沿った提案がなされており、事業や収支の計画も妥当と言える。また、これまでの運営状況も良好であり、今までどおり安定した施設運営が見込まれること等を評価し、当該団体を選定した。

（1）施設の設置目的の達成とサービスの向上

施設利用者の特性や希望を理解し、また今までの運営実績を生かしたかたちで、施設の管理運営に係る適切な基本方針や事業計画、健康管理等についての提案がなされている点などを評価した。

（2）施設機能の発揮と管理経費の縮減

事業計画と整合がとれた収支計画となっている。また、効率的な施設運営をするにあたり、適切な経費縮減案が提案されていた。

（3）事業の安定性及び継続性の確保への取組

提案された職員体制及び業務改善に向けた取組が適切であった。

（4）応募団体自身に関する事項

当該施設に加えて類似施設の運営実績が豊富であり、運営実績を踏まえた提案がなされている点や安定した財政基盤を有している点などを評価した。

（5）応募団体の取組に関する事項

情報公開の取組、コンプライアンス遵守のための取組等が適切であった。

（6）その他の事項

特別支援学校等の生徒に向けた「夏休み一日施設体験」事業や、地域生活支援SOSかわさき事業といった地域における公益的活動に関する提案内容が適切であった。

4 審査結果（※基準点630点以上）

選定基準		配点	社会福祉法人育桜福祉会
基準評価項目	①施設の設置目的の達成及びサービスの向上	350点	218点
	②施設機能の発揮と管理経費の縮減	275点	156点
	③事業の安定性及び継続性の確保への取組	200点	119点
	④応募団体自身に関する事項	100点	68点
	⑤応募団体の取組に関する事項	75点	45点
基準評価 合計		1,000点	606点
加算評価項目	その他の事項 (地域における公益的な活動)	50点	32点
実績評価点 (標準を0点として、加減点)			53点
総合計		1,050点	691点

5 提案額

年 額 6,653千円
指定期間計 33,265千円